

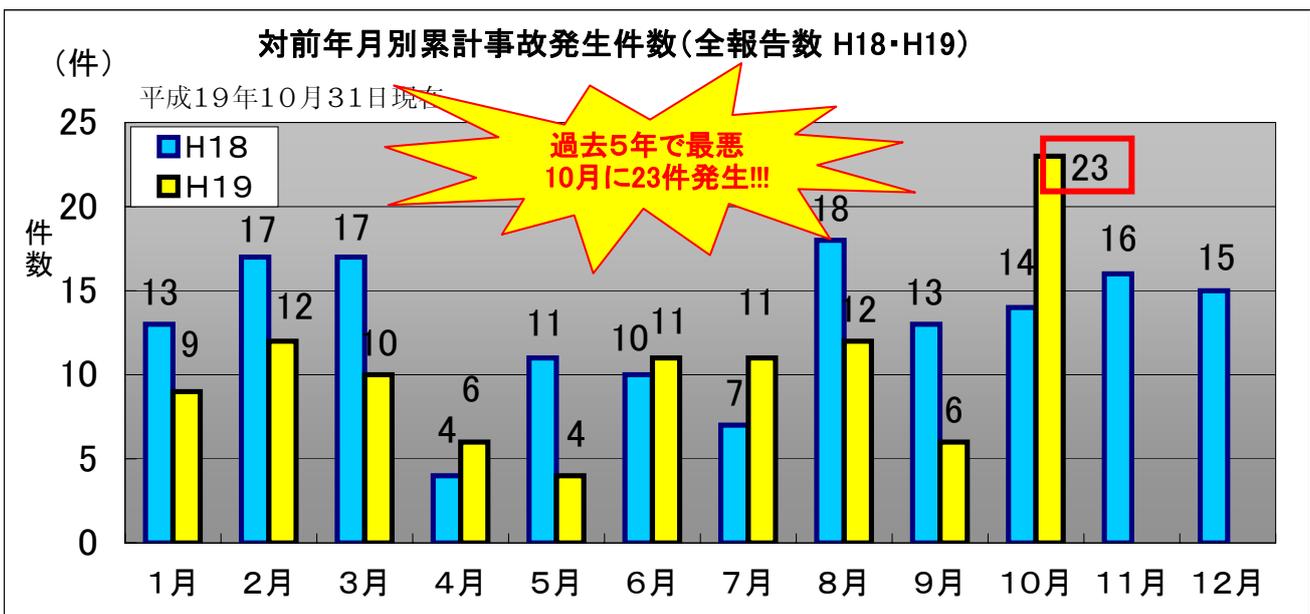
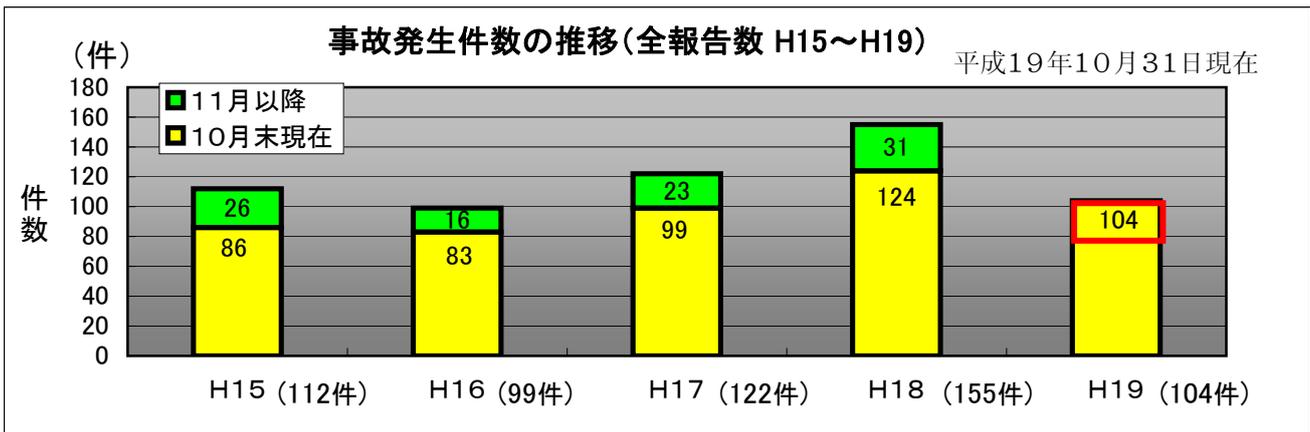
工事事故が多発しました

10月に過去5年で最悪の事故発生件数!!!

先月も報告しましたが、北陸地方整備局管内の直轄工事において、**10月に工事事故が多発しました。**

10月1日～31日の1ヶ月間に23件の事故が発生しています。

この状況は、**過去5年間に発生した件数を、ゆうに超える異常ともいえる数値です。**
今一度、講習会や現場点検を実施し、**労働災害・公衆災害の防止に努めて下さい。**



平成19年度

「技術図書・マニュアル等の説明会」を実施!

10月の24日～30日にかけて、**長野・新潟・富山・金沢会場**において、「**土木工事共通仕様書**」・「**設計要領（河川編・道路編）**」・「**構造物関係マニュアル**」の講習会を実施しました。

この説明会は、土木工事に関する関係図書を改正（2～3年）した場合、改正された内容や、新規に追加された内容を説明する講習会です。

今年は、4会場で約400名の方が講習会に参加されました。参加された皆様は、熱心に改正内容を聴講されていました。



(写真は新潟会場)

※ **平成19年度版 土木工事共通仕様書に追加して下さい。**

説明会でも話をしましたが、労働災害防止のため、9月中旬に、**枠組み足場の設置**については、「**手すり先行足場**」が標準となりました。

しかし、共通仕様書については、発刊を8月に行ったため、現在は、記載されていません。

よって、**下記のアドレスをクリックし、「手すり先行足場」の改訂を取得して下さい。**

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/kaitei/shiyousho/H19.10kaisei.pdf>

「災害時に役立つ技術開発」を実施!

大災害が発生した場合、上下水道の被災により、トイレが使用不能となる場合があります。

トイレが使用不能となった場合、仮設トイレを調達し対応していますが、トイレが和式であるため段差があり遠くて使いづらい。また、水を控えて使用するため、トイレが汚い・臭い等の問題があります。

これらの問題を解消するため、北陸技術事務所において、災害時に効果を発揮するトイレについて検討し、災害現場や避難場所への支援に役立つトイレを試作しました。



車に載せた状態でも、

地面に置いた状態でもトイレとして使用ができます



このトイレの特徴は、トイレ室が三室あり、それぞれを分離・独立して使用できる構造となっています。主として、災害用トイレとして用いられ、高齢者や災害時要援護者が使いやすいように様式としたほか、バリアフリー対応の多目的トイレも一室備えています。

また、この水洗便器は、超節水型吸引式が使用され、使用回数が多くても臭気が抑制されています。

し尿処理については、平常時は下水道などに接続し水洗トイレとして使用し、災害時には、汲み取りや外付けタンク貯留として利用することが可能となります。

事故速報

**10月は ほぼ毎日 工事事故が発生した!
休業4日以上 の労働災害も3件発生した!**

事件事例を参考に、作業手順書の見直しや、危険予知活動に生かして下さい。

(その1)

発生日時	平成19年10月 3日(水) 11時45分
工事の種類	道路改築工事 <労働災害 休業4日以上>
事故の状況	作業員が現場確認のため、ひもを張ろうとして移動したところ、それに気づかずバックしてきたブルドーザのキャタビラの下敷きになり、左足から腰にかけて裂傷した。

(その2)

発生日時	平成19年10月 4日(木) 10時25分
工事の種類	道路改築工事
事故の状況	現場から土砂搬出後の帰り、工事車両が対向車線をはみ出し、乗用車と接触した。

(その3)

発生日時	平成19年10月 5日(金) 2時40分
工事の種類	港湾浚渫工事 <労働災害>
事故の状況	浚渫工事現場において、揚錨船上アンカー作業中、補助ワイヤーと共に誤って海中に転落した。

(その4)

発生日時	平成19年10月 5日(金) 9時30分
工事の種類	道路維持工事 <労働災害 休業4日以上>
事故の状況	法面整形の作業中、誤って法下のJR線路脇の側溝まで転落し、負傷した。

(その5)

発生日時	平成19年10月 5日(金) 14時25分
工事の種類	河川築堤護岸工事 <公衆災害>
事故の状況	トレーラでバックホウを運転中、トレーラの後部を電柱に引っかけて、電柱を倒した。

(その6)

発生日時	平成19年10月 5日(金) 16時35分
工事の種類	道路舗装修繕工事 <公衆災害>
事故の状況	標識車を降りる際、後方確認のまま、右ドアを開けたところ、後方から来た車を一部損傷した。

(その7)

発生日時	平成19年10月 6日(土) 16時40分
工事の種類	営繕庁舎改修工事 <公衆災害>
事故の状況	既存解体工事に先立ち、電気ブレーカを切って作業をしていた。解体終了後にブレーカを入れたが、復旧はしなかった。調査したところ、土間コンクリート内の電気配管を破損していた。

(その8)

発生日時	平成19年10月 9日(火) 11時20分
工事の種類	道路堆雪帯工事 <公衆災害>
事故の状況	バックホウで掘削中、路面下から1.0m付近に埋設されていた水道管を破損した。水道局が立会の試掘調査では、存在が分からなかった。

(その9)

発生日時	平成19年10月14日(日) 7時30分
工事の種類	河川護岸復旧工事 <公衆災害>
事故の状況	ブルドーザを作業開始前にトレーラで運搬する際に、交差点を曲がろうとしたら、荷台の内輪差による張り出しに気づかず、河川看板に接触し破損した。

(その10)

発生日時	平成19年10月15日(月) 9時20分
工事の種類	河川維持管理作業
事故の状況	公道の出たところ、一般車両に工事車両(ユニック車)が追突した。

(その11)

発生日時	平成19年10月15日(月) 11時50分
工事の種類	砂防情報管路工事
事故の状況	工事規制中の作業内に、一般車両が突っ込んできた。

(その12)

発生日時	平成19年10月16日(火) 10時55分
工事の種類	砂防堰堤工事 <労働災害>
事故の状況	法面小段まで降りようとして、残り3m位のところから小段に滑り落ちた。命綱は付けていた。

(その13)

発生日時	平成19年10月16日(火) 15時50分
工事の種類	道路防護柵工事 <公衆災害>
事故の状況	橋梁の高欄更新に伴い、床版補強を実施するため、歩道部の一部をカッターで切断中、PC桁の一部及び横締鋼棒を切断した。

(その14)

発生日時	平成19年10月17日(水) 10時25分
工事の種類	道路改良工事 <公衆災害>
事故の状況	横断地下道脇の側溝布設のため、バックホウにて掘削したところ、民家の水道引き込み管を切断した。

(その15)

発生日時	平成19年10月17日(水)	12時40分
工事の種類	河川車両管理業務	
事故の状況	駐車場で止まっていた車に、当社の車がバックしてぶつかった。	

(その16)

発生日時	平成19年10月18日(木)	11時05分
工事の種類	河川護岸復旧工事	<労働災害>
事故の状況	ボーリングロッドを荷下し中に荷崩れし、作業員の足に落ち負傷した。	

(その17)

発生日時	平成19年10月18日(木)	13時00分
工事の種類	道路管理業務	<労働災害>
事故の状況	出張所構内において、仮置きしていた樹木の枝を、ナタで細分化していたところ、左手人差指を負傷した。	

(その18)

発生日時	平成19年10月19日(金)	10時35分
工事の種類	道路橋梁補強工事	<労働災害 休業4日以上>
事故の状況	左岸の工食用道路設置にあたり、盛土範囲のマーキング中に、根固めブロックのすき間に足を滑らせ、ブロックに腰を強打した。	

(その19)

発生日時	平成19年10月22日(月)	13時05分
工事の種類	道路消雪工事	<公衆災害>
事故の状況	橋梁上より、点検車を使い、消雪施設への送水管の保温工を施工していた。運転手が点検車のギアをドライブに入れて車を離れたため、車が動き出し警察標識に接触し損傷させた。	

(その20)

発生日時	平成19年10月23日(火)	15時30分
工事の種類	公園修景工事	
事故の状況	仮置場より国道を走行中、対向車がセンターラインを飛び出し走行してきたので、対向車を避けようとしたが避けきれず衝突した。車両は、路肩側溝にはまり横転した。	

(その21)

発生日時	平成19年10月25日(木)	15時30分
工事の種類	河川用地管理業務	<公衆災害>
事故の状況	用地境界にコンクリート杭を設置するため、地盤をバックホウで掘削したところ、埋設されていた個人所有の塩ビ管を破損した。	

(その22)

発生日時	平成19年10月29日(月)	17時05分
工事の種類	道路法面工事	<労働災害>
事故の状況	作業終了後、足場上を歩いていたところ、移動用にボーリングマシンに設置していたワイヤーに足を引っ掛け転倒し負傷した。	

(その23)

発生日時	平成19年10月31日(水)	11時30分
工事の種類	道路会場設営作業	<労働災害>
事故の状況	脚立に登り、音響ケーブルを設置していた際、足がすべり脚立から転倒した。	

建設工事事務データベースへの登録を忘れずに

建設工事事務データベースへの登録(入力)を忘れずにお願いします。

請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)して下さい。

建設工事事務データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、一定規模以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用してデータベースに入力するものです。

データベースを「建設工事事務データベース」もしくは「SAS(Safety Analysis System)」と呼び、管理業務はSASセンターが行っています。

登録(入力)は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>